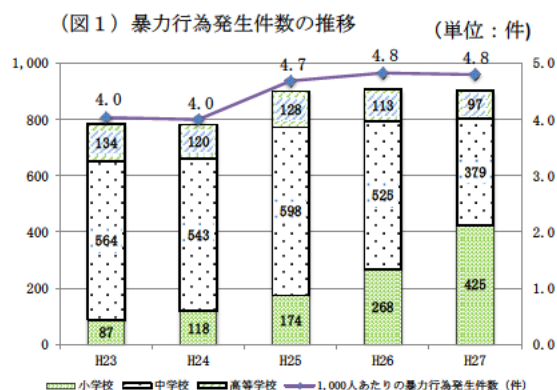


平成27年度 公立小中学校及び県立高等学校における暴力行為の状況

1 概要 (図1参照)

- 平成27年度の公立小中学校及び県立高等学校における暴力行為発生件数は901件で、平成26年度と比較して5件減少(前年度比0.6%減)。
- 公立小中学校及び県立高等学校における1,000人あたりの暴力行為発生件数は4.8件で、平成26年度(4.8件)と増減なし。



2 形態別状況 (表1参照)

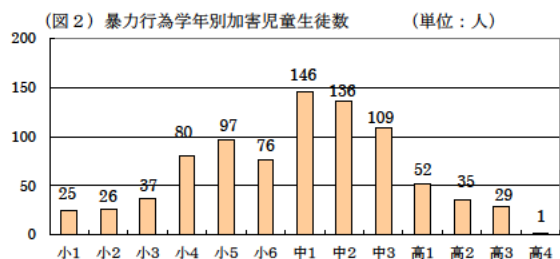
- 形態別では、生徒間暴力が597件(構成比66.3%)で最多。
- 次いで対教師暴力171件(同19.0%)、器物損壊124件(同13.8%)、対人暴力9件(同1.0%)の順。

(表1) 暴力行為推移 (形態別) (単位: 件)

	H23	H24	H25	H26	H27
対教師暴力	214	217	195	194	171
生徒間暴力	421	416	565	591	597
対人暴力	11	13	11	18	9
器物損壊	139	135	129	103	124
計	785	781	900	906	901

3 学年別状況 (図2参照)

- 学年別加害児童生徒の総数は849人で、中学生391人(構成比46.1%)と最多。
- 学年別では、中学1年生が146人(同17.2%)、中学2年生136人(同16.0%)、中学3年生109人(同12.8%)の順。



4 校種別状況 (表2参照)

- 小学校が425件(構成比47.2%)で最多。続いて中学校379件(同42.1%)、高等学校97件(同10.8%)の順。
- 平成26年度と比較すると、小学校で157件の増加、中学校で146件の減少、高等学校で16件の減少。

(表2) 暴力行為推移 (校種別) (単位: 件)

	H23	H24	H25	H26	H27	構成比(%)
小学校	87	118	174	268	425	47.2
中学校	564	543	598	525	379	42.1
高等学校	134	120	128	113	97	10.8
計	785	781	900	906	901	100.0
増減(▲)率(%)		▲0.5	15.2	0.7	▲0.6	

※(構成比は、H27暴力行為計に対する割合)

5 加害児童生徒実人数 (表3参照)

- 中学校が369人(構成比46.7%)で最多。続いて小学校308人(同39.0%)、高等学校113人(同14.3%)の順。
- 平成26年度と比較すると、小学校で117人の増加、中学校で85人の減少、高等学校で19人の減少。

(表3) 加害児童生徒実人数推移 (校種別) (単位: 人)

	H23	H24	H25	H26	H27	構成比(%)
小学校	80	100	148	191	308	39.0
中学校	506	460	507	454	369	46.7
高等学校	153	160	149	132	113	14.3
計	739	720	804	777	790	100.0
増減(▲)率(%)		▲2.6	11.7	▲3.4	1.7	

※(構成比は、H27加害児童生徒実人数計に対する割合)